

ゆきとどいた教 をすすめる北海道連絡会ニュース

NO.12 2022年2月15日 ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会

全道でとりくんだ教育全国署名

道議会に3万2431筆提出



ゆきとどいた教育めざし 署名と7項目の請願書を提出

2月9日、ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会は、道議会に対し教育全国署名と要請書を提出しました。提出は、事務局の新保（道教組）と道端（道高教組）が行い、議会事務局が対応してくれました。

署名は昨年7月から今年の2月末までとりくみ、最終集約で3万2431筆となり、運動に対する確信となりました。北海道連絡会に結集する道高教組、道教組、新婦人、道労連が中心となり、退職教職員にもかなり応援していただきました。

全道で少人数学級早期実現、教育費の無償化、

教職員定数改善、奨学金の拡大、特別支援教育の充実など切実な教育要求7項目を訴え、今年も多くの道民から賛同を頂くことができました。

この間、職場での署名、街頭宣伝・署名行動、商店街への依頼、PTAへの広がり等、全道各地、様々なとりくみで多くの教訓をつくることができました。現役教職員は、ゆきとどいた教育の実現めざし、全道から叱咤激励された思いがします。

また、道議会議員や国会議員の方とも懇談することで、この運動の重要さを伝えてきました。道議の紹介議員は全会派から26名、国会議員（北海道選出）は5名となっています。

議会事務局の方（元高校の事務職員）からは、私たちの運動に励ましの言葉と、議会請願を実現させるためのアドバイスをいただき、大変参考になりました。こんなに具体的なアドバイスと激励を受けたことはありませんでした。

この運動にかかわった全道各地の皆様に変更してお礼申し上げます。

